

# 大名みえ子です

〒319-1112 東海村村松 2401-2

電話・FAX 029-284-0761

E-mail toukai@oona-mieko.info

関係市村 日本共産党  
議員などが

## 那珂久慈浄化センター、 広域汚泥処理施設を視察



参加したのは、県議、水戸市、ひたちなか市、日立市、那珂市、常陸太田市、茨城町、城里町、東海村の各議員ら

8月9日、那珂久慈流域ブロックの日本共産党市村議員、県議らで下水道事業及び広域汚泥処理事業について視察を行いました。両施設は、今年度から指定管理者に運営委託されました。

初めに、処理場の概要説明を受け、続いて処理施設を案内したビデオを鑑賞、質疑を行ってから、現地を見学させていただきました。視察参加者は、左写真のとおり関係者12名で、施設側の丁寧な説明がありました。視察にあたっては、事前に汚泥処理事業に関する3項目11点の質問を提示してありましたので、主なやり取りを紹介します。

- ①焼却炉及び集塵機の種類・・・焼却炉は1号炉2号炉とも流動床式汚泥焼却炉。集塵機は1号炉がサイクロンと電気集塵機、2号炉がバグフィルター。 ②バグフィルターの交換周期・・・メーカー推奨で3~6年。
- ③保管中の指定廃棄物は全量、当該施設での焼却で発生した焼却灰か・・・全量当事務所焼却炉で発生した焼却灰。
- ④福島第一原発事故以後の焼却によって発生した焼却灰の量と、放射性セシウム134、137の濃度ごとの量・・・(紙面の都合で最高濃度と量のみ) 平成23年度 17,000~16,000 Bq/kg=81.78 t 平成24年度 3,999~3,000 Bq/kg=635.94 t 平成25年度 1,999~1,000 Bq/kg=691.26 t 平成26年度 999~0 Bq/kg=1923.04 t 平成28年度 999~0 Bq/kg=436.57 t 保管量は1,019.84 t 処分量は9,022.94 t。
- ⑤8,000 Bq/kg未滿の焼却灰の処理・・・300~600 Bq/kgで推移のため全量埋め立て処分。8,000 Bq/kgを超える指定廃棄物はテント倉庫に約829 t保管

※テント倉庫の仕様が、8,000 Bq/kg以上も未滿も同じであること、「津波浸水想定」への対応などが心配されることを感じました。対応を求めたいと思います。



## 卓球男子団体 種目初の銀メダル

(リオオリンピック)

(左から) 水谷隼、吉村真晴、丹羽孝希選手

吉村真晴(よしむらまはる)選手は、東海村出身。名前の真晴(まはる)は、タガログ語で「愛する」を意味する言葉だとか。吉村選手のお父さんは元卓球選手で、本村のジュニア世代専門の「東海クラブ」の指導者で、真晴選手も小学校時代から所属。

中学校は、宮城県多賀城市の秀光中学校へ進学。中学校3年時に、山口県山口市の野田学園中学校へ転校。その後野田学園高等学校に進学したそうです。2012年4月からは愛知工業大学へ進学。数々の世界大会などで活躍。

団体女子も、銅メダル

